



## 未利用地等(学校跡地) 検討委員会ニュース

【特別号Ⅱ】

### 学校区別広聴会を実施しました！

アンケート調査の結果を踏まえ、11月5日から11月12日にかけて、6小学校区別の広聴会を開催しました。広聴会には、各学校区内の区長さんをはじめ、施設を利用されている団体の代表の方、各地区の社会福祉協議会の代表の方、PTA代表の方及び地域住民の方々にご出席を賜り、多くのご意見をいただきました。今回は、2回の広聴会時にいただきました各学校区ごとの意見集約について、ご報告をさせていただきます。

広聴会にご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました！

### 広聴会概要！

	開催日時	学校区	場所
①	11月5日(水) 午後7時から	駒場小学校	駒場公民館
②	11月6日(木) 午後7時から	石崎小学校	中石崎公民館
③	11月7日(金) 午後7時から	川根小学校	上飯沼新農村集落センター
④	11月10日(月) 午後7時から	上野合小学校	上野合小学校体育館
⑤	11月11日(火) 午後7時から	沼前小学校	沼前小学校体育館
⑥	11月12日(水) 午後7時から	広浦小学校	広浦小学校体育館



駒場小学校区の広聴会の模様

### 各学校区からの主な意見等！

※行政順に掲載、また、意見等の掲載は順不同

#### 【石崎小学校区】

- ・地域コミュニティ施設を設置してはどうか。
- ・以前に行っていた3世代運動会等ができれば、地域としてのまとまりも促進されるのではないかと。
- ・雇用も見込めるので校舎を解体後、平屋の建物を建築し、農業加工施設としてはどうか。
- ・周辺を子供・子育てゾーンとし、跡地は運動広場に、駐車場や遊具のある公園を作るとともに、保護者が交流できるようなミニゆうゆう館施設を整備するなど、子供・子育ての情報提供、相談の受付や交流の場としてはどうか。
- ・町には公園が少ないので、体育館とグラウンドの利用を中心に考え、駐車場、水道及びトイレを設置し、公園としてはどうか。
- ・スポーツ少年団、部活、大学の合宿など、若い人に利用してもらえればよい。
- ・グラウンドゴルフ場の整備。
- ・大子町のおやき学校のような施設をつくってはどうか。
- ・統合後、スクールバスの発着場所としてはどうか。
- ・体育館の隣に調理室があれば、災害時に便利である。
- ・東日本大震災の教訓から避難施設に井戸が欲しい。
- ・ヘリポートとしての利用。
- ・除草は、地域の勤労奉仕では難しい。これまでは子供たちがいるから協力していたと思うが、閉校後の協力者は利用団体だけということになるのではないかと。
- ・地元に維持管理を丸投げされては困る。

#### 【広浦小学校区】

- ・地域の交流施設として開放してはどうか。囲碁や将棋等、簡単な娯楽もできるとよい。
- ・利用者は地域住民が主体だと思っているので、交流の場としてほしい。新しい人が来てくれて交流でき、地域活性化につながるような案を検討してほしい。
- ・涸沼自然公園キャンプ場等の資源を活用し、ラムサール条約の登録も踏まえた涸沼の観光振興が有効に図れる施設を整備してほしい。
- ・涸沼の観光拠点となる施設や入浴施設(温泉等)を整備してもらいたい。
- ・涸沼の観光PRの拠点としてもらいたい。
- ・涸沼を県の観光基地とできるような施設、涸沼周辺の整備について考えてはどうか。
- ・展示スペースを作り、ラムサール条約に関連する自然観察による小中学校等の宿泊学習ができるよううにしてはどうか。周辺は、蛸が多く集まるので、そうした資源もうまく活用してはどうか。
- ・健康増進施設を整備してはどうか。
- ・地域の特性を生かした料理教室を行ってはどうか。

#### 【川根小学校区】

- ・校舎を川根地区の年配の方のコミュニケーションや子供たちのスポーツの場として残してほしい。
- ・学校跡地のグラウンド、体育館等でスポーツ少年団等の子供たちが活動している場に高齢者が足を運んでもらえるようになれば、世代間の交流の場にもなる。
- ・三世代の運動会等、集落を集める取組みを考えてはどうか。
- ・郷土資料館を整備してほしい。昔の農具、民具等は減少しつつあるので、文化的施設ができるまで川根小学校に集めてはどうか。

- ・スポーツ少年団の活動は、町の運動公園に集中する場合がありますので、野球やサッカー等、種目別の活動場所として6校の内2校程度を充て、その他の小学校は、資料館や運動場等にしてはどうか。
- ・ソフトボールの県大会開催を依頼され、運動公園のみでは足りず、断ったことがある。跡地をグラウンドにし、管理棟を作れば、大会の招致等で町のスポーツ活動の幅が広がる可能性があるのでは。
- ・若者向けの町営住宅があれば人も子供も増えるのではないかと。
- ・戸建て住宅の建設の方が、定住の促進、地方創生という観点で有効だと思う。
- ・東日本大震災時、川根小学校が川根地区の避難場所となったが体育館は使用不能だった。校舎はいざという時の避難場所として使えるよう残してもらいたい。
- ・町に限られた予算で管理できる体制の検討が必要である。ボランティアで維持管理を行うことになった所は、4年から5年で荒地になっている所が多い。
- ・利活用の方針が決まれば、地域でも草刈りを行う等の協力も見込めるが、それがなければ協力の依頼は難しいだろう。

#### 【上野合小学校区】

- ・上野合地区の子育て世代のコミュニティを作り、除草作業をきっかけにさまざまな世代が集まる機会を設けたい。受け皿を準備する用意はあるので、住民の人たちが求める利活用をしてほしい。
- ・耐震工事に相当の費用がかかるため校舎は解体し、規模の小さい建物を設置し地域のコミュニティ施設とした方がよい。
- ・子供が思いっきりボールを投げたり蹴ったりする場所がないので、跡地は、サッカー場や、遊具を残してもらい公園等とするのがよいのではないかと。
- ・農業が盛んな地域なので、都市部との交流のための宿泊施設や周辺の農地と連携した農産物加工施設を整備してはどうか。常磐道や茨城空港等も近く、アクセスもよい。
- ・農業協同組合と連携して食の教育を行う施設を設置し、都市部との交流を図りながら、地域の発展を目指してはどうか。
- ・地域に放課後児童クラブがあれば保護者にとって便が良く、災害時もすぐに迎えに行ける。
- ・スクールバスのバス停は、子供の安全を考慮して、学校跡地の敷地内に設置してもらいたい。その際、大型バスが入れるような入口が必要になる。
- ・体育館を避難所として活用する場合、調理室等の機能を確保すべきである。
- ・災害訓練等の旧村5地区単位の取組みに今後も利用できるよう跡地は、残してほしい。

#### 【沼前小学校区】

- ・スポーツをする子供たち、幼稚園児、高齢者の交流の場があるとよい。
- ・家庭科室のある後ろの校舎を残して高齢者がお茶を飲めるような場所を設置し、その隣にシャワー室を作ることで校舎を活用してはどうか。
- ・サッカーの公式試合ができる広さがあるので、全面芝生化してほしい。
- ・校舎を更地にしてシャワー室、調理室、管理室を設置すると同時に高齢者が遊べるような空間も確保してほしい。
- ・スポーツ少年団等で試合に来た際、控える(着替え等)場所がないので、そうした場所の確保をしてほしい。
- ・宿泊施設として活用されれば、子供たちの合宿にも利用できる。少年団の合宿の需要は高い。飲食は、調理器具があれば自分たちで調理できるので、簡易な施設で良い。
- ・体育館やグラウンドの利用効率を上げるため、前の校舎を解体して駐車場を拡張してはどうか。
- ・医療費の削減効果も見込める健康づくりのための施設としてほしい。
- ・維持管理は、町や利用団体の他、地域でも地区社協のような組織を作り、除草作業等に協力しては。

#### 【駒場小学校区】

- ・皆が集まって話をしたりお茶を飲んだりゲームをしたりする地域の交流施設とし、各集落が連携して介護予防等に取組む運営組織を創設できればよい。
- ・高齢者等の交流の場と一体化させて世代間の交流ができれば、子育てや幼児教育の支援にもつながるのではないかと。
- ・跡地利活用を町全体の計画として見た時、役場周辺が中枢になるので、駒場小学校跡地を拠点施設として、利活用の案を考えてほしい。
- ・各集落の区長がリーダーとなって各種団体等の地域行事を集め、跡地を利活用してはどうか。
- ・校舎1階に芸術系、スポーツ系の若者が集えるようにして町の活性化の中枢施設としてほしい。
- ・スポーツ活動等をするに当たり、体育館は広すぎるので校舎の1室を利用希望によって広く開放してもらいたい。
- ・統合校で大きな行事を行う際、駐車場が狭いので、駒場小学校のグラウンドを使用してはどうか。
- ・プールがあった場所にグラウンドゴルフ場を整備して欲しい。
- ・跡地に公立の幼稚園ができれば、保護者の費用負担が軽減され、広々とした敷地で子供たちものびのびと過ごせるのではないかと。
- ・町にない産婦人科、小児科の他、内科、ホスピス等の医療施設の誘致を考えてはどうか。
- ・維持管理方法が決定するまでは、暫定的に地域の人たちで草刈りを行う程度の取組を行った方がよいのではないかと。

今後は、アンケート調査の結果や各学校区の集約した意見を踏まえ、未利用地等検討委員会で協議を進めてまいります。